



「アウトドア・アクティビティ拠点施設」が
いよいよ来年オープン予定!

オープンに先駆けて、留萌で出来る
アウトドアアクティビティを紹介していきます!



今月のインタビュー

所属:株式会社 丸カ 笠井商店
るもい未来観光創生チーム

かさ い けい すけ
笠井 佳 祐 さん

プロフィール

出身地/留萌市

略歴:2021年からモルックをはじめる
2022年10月 モルック体験会 講師
2023年 6月 モルック☆フェス 講師
2024年 6月 モルック☆チャレンジ 審判
2025年 6月 モルック☆るもいリーグ 審判

モルックを始めたきっかけを教えてください。

父が2021年に動画配信サイトで、ある芸人が紹介していたモルックというスポーツを見て、面白そうだと思いました。そこで、モルックセットを購入して、るしんふれ愛パーク（道の駅るもい）で家族と遊んだのが最初です。

家族で日常的に遊んでいることをコササルの金川文子さんが知ってくれて、エフエムもえるの米倉礼子さんとともに、同公園の利活用の一環として、2022年にモルック体験会を開催することとなりました。その際、経験者である僕と父にお声がけいただき、講師として手伝いました。

それ以来、年に1回のペースでイベントを開催していて、小学生から60代くらいの方まで幅広く参加してくれています。

モルックの魅力を教えてください。

投げて当てるという意味ではコントロールが必要ですが、気軽に楽しめることが魅力です。

木製の棒「モルック」を投げて、数字の書かれた棒「スキttl」に当てて倒すことで、スキttlに書かれた数字か、倒れた本数の得点がもらえます。それを対戦相手と交互に繰り返しながら、0点からスタートし、最初に50点ピッタリになると勝ちになります。対戦相手と交互に投げる度に、目標となるスキttlはどんどんフィールド上に広がり、遠くに移動します。

終盤になると50点までの自分の残り点数や相手の残り点数などを考えながら戦略をたて、頭を使いながら楽しめる奥深いスポーツです。

（
気軽に楽しむことができて
頭を使うところが魅力）



▲6月に道の駅るもい芝生広場で開かれた「モルック☆るもいリーグ」

これからどのような活動をしていきたいか教えてください。

僕と父は、留萌で公認大会を開催出来たらいいなと思っています。札幌市では、様々なモルックの大会やイベントが開催されていて、練習会などもあります。留萌市内では留萌観光協会さんが年一回イベントを開催しています。大会を開催できるように、もう少し仲間を増やしていきたいと思います。

去年、函館市でモルック世界大会が開催されました。道内の放送局のスタッフが率いるチームがその大会で好成績を収め、今年の世界大会に出場しています。留萌からもモルック世界大会に出場する選手が生まれるといいですね。

アウトドア・アクティビティ拠点施設に何を期待しますか。

僕はそこまで本格的にアウトドアをやる方ではないので、日常生活で使えるアウターなどの商品を取り揃えてほしいと思いますし、初心者でもアウトドアアクティビティを体験できる施設になるといいなと思います。

モンベルアウトドアヴィレッジについては、
留萌市ホームページよりご覧ください。

留萌市
ホームページ
のQR▶



モルックについて紹介します

モルックとは、フィンランド・カレリア地方に伝わるキッカと呼ばれるゲームを元に、フィンランドの企業が考案した子どもから高齢者まで幅広い世代の人々が楽しめるアウトドアスポーツ。

ルールは、3メートル先に置かれた1～12の数字が書かれた木製のピンスキットルを目がけ、モルックと呼ばれる木製の棒を投げて倒す。倒れた本数が1本の場合はスキットルに書かれた数字、複数の場合は倒れたスキットルの本数がそれぞれ得点となる。合計点が50点ピッタリになると勝ち。

